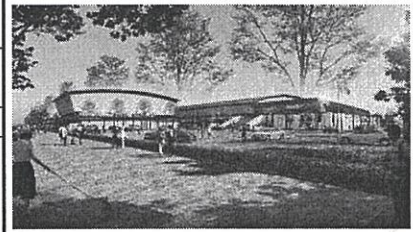


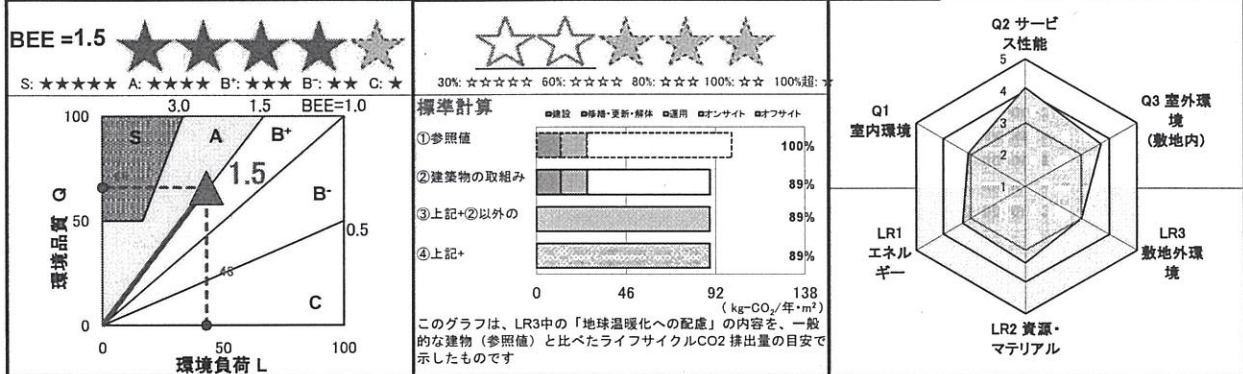
# CASBEE<sup>®</sup>-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v3.0)

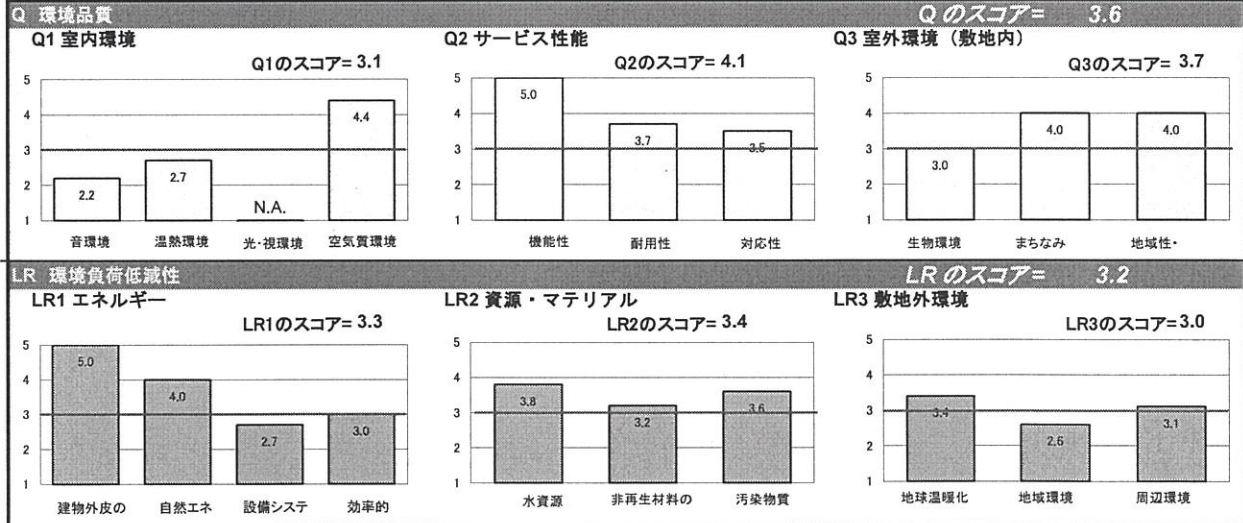
1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)埼玉県屋内50m水泳場、川口	階数	地下1階、地上2階
建設地	埼玉県川口市	構造	RC造
用途地域	市街化調整区域	平均居住人員	0人
地域区分	6地域	年間使用時間	4,200時間/年(想定値)
建物用途	集会所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2027年3月 予定	評価の実施日	2025.01.28
敷地面積	55,529 m <sup>2</sup>	作成者	小倉知佳
建築面積	16,353 m <sup>2</sup>	確認日	2025年1月28日
延床面積	22,138 m <sup>2</sup>	確認者	瀬尾孝史



## 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート) 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート) 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)



## 2-4 中項目の評価(バーチャート)



## 3 設計上の配慮事項

総合	その他
<p>競技者の競技力向上を促進するための設備を備えるとともに、一般の利用者が安心して利用できる環境を整備した水泳場施設を計画している。</p> <p>地域の県民に親しまれ、すべての人々が利用しやすい施設づくりを実現している。</p>	
<p><b>Q1 室内環境</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>窓には複層ガラスを用いる、断熱材を適切に使用する等の工夫により、外皮性能を高めている。</li> </ul>	<p><b>Q2 サービス性能</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>耐震性に優れた、災害に強い安全で安心な大空間構造を採用している。</li> <li>一次避難場所として、避難者を受け入れるのに十分な設備計画としている。</li> </ul>
<p><b>LR1 エネルギー</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>窓には複層ガラスを用いる、断熱材を適切に使用する等の工夫により、外皮性能を高めている。</li> <li>共用部にトップライトを採用し、自然採光を可能としている。</li> </ul>	<p><b>LR2 資源・マテリアル</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>トイレの便器に使用する雑用水に雨水利用設備を採用する、プールのオーバーフロー水を回収し、プールの循環水に再利用する等の工夫により、水道水の使用量を削減している。</li> </ul>
	<p><b>Q3 室外環境(敷地内)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>周辺の環境や地域性、ランドスケープと調和させることで、景観形成をもたらす外観をデザインしている。</li> </ul>
	<p><b>LR3 敷地外環境</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>太陽光発電及び屋上緑化の導入で、ライフサイクルCO<sub>2</sub>の削減に取り組んでいる。</li> <li>ゆとりのある駐車場の台数を確保し、駐車場の配置は利便性・安全性に配慮している。</li> </ul>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

**CASBEE-建築(新築)2016年版**  
 (仮称)埼玉県内50m水泳場、川口市北スポーツセンター・神領西公民館

■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2016年版

欄に数値またはコメントを記入

■評価ソフト:

CASBEE-BD\_NC\_2016(v3.0)

スコアシート		実施設計段階		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
<b>Q 建築物の環境品質</b>										<b>3.6</b>
<b>Q1 室内環境</b>							0.40	-	-	<b>3.1</b>
<b>1 音環境</b>						2.2	0.20	-	-	2.2
1.1 室内騒音レベル						1.0	0.40	-	-	
1.2 遮音						3.0	0.40	-	-	
1 開口部遮音性能						3.0	1.00	-	-	
2 界壁遮音性能						-	-	-	-	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)						-	-	-	-	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)						-	-	-	-	
1.3 吸音						3.0	0.20	-	-	
<b>2 温熱環境</b>						2.7	0.47	-	-	2.7
2.1 室温制御						3.2	0.50	-	-	
1 室温				平均熱貫流率外壁0.80 W/m <sup>2</sup> K未満、窓3.10 W/m <sup>2</sup> K未満。		3.0	0.38	-	-	
2 外皮性能						4.0	0.25	-	-	
3 ゾーン別制御性						3.0	0.38	-	-	
2.2 湿度制御						1.0	0.20	3.0	-	
2.3 空調方式						3.0	0.30	3.0	-	
<b>3 光・視環境</b>						-	-	-	-	-
3.1 昼光利用						-	-	-	-	
1 昼光率						-	-	-	-	
2 方位別開口						-	-	-	-	
3 昼光利用設備						-	-	-	-	
3.2 グレア対策						-	-	-	-	
1 昼光制御						-	-	-	-	
3.3 照度						-	-	-	-	
3.4 照明制御						-	-	-	-	
<b>4 空気環境</b>						4.4	0.33	-	-	4.4
4.1 発生源対策						5.0	0.50	-	-	
1 化学汚染物質				F☆☆☆☆をほぼ全面的に使用。		5.0	1.00	-	-	
4.2 換気						3.0	0.30	-	-	
1 換気量						3.0	0.50	-	-	
2 自然換気性能						-	-	-	-	
3 取り入れ外気への配慮						3.0	0.50	-	-	
4.3 運用管理						5.0	0.20	-	-	
1 CO <sub>2</sub> の監視				CO <sub>2</sub> 監視を中央で常時行うことが可能。		5.0	0.50	-	-	
2 喫煙の制御				施設内禁煙。サインで禁煙を周知。		5.0	0.50	-	-	
<b>Q2 サービス性能</b>						-	0.30	-	-	4.1
<b>1 機能性</b>						5.0	0.40	-	-	5.0
1.1 機能性・使いやすさ						5.0	0.40	-	-	
1 広さ・収納性						-	-	-	-	
2 高度情報通信設備対応						-	-	-	-	
3 バリアフリー計画				埼玉県建築物バリアフリー条例、福祉のまちづくり条例も満たす。		5.0	1.00	-	-	
1.2 心理性・快適性						5.0	0.30	-	-	
1 広さ感・景観						-	-	-	-	
2 リフレッシュスペース						-	-	-	-	
3 内装計画				競技者、観覧者が利用しやすい、地域性を踏まえたデザイン。		5.0	1.00	-	-	
1.3 維持管理						5.0	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計				内装・外装には防汚性の高い仕上げ材を選定。		5.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保				十分な大きさの清掃員控室、ゴミ庫の確保。		5.0	0.50	-	-	
<b>2 耐用性・信頼性</b>						3.7	0.30	-	-	3.7
2.1 耐震・免震・制震・制振						3.8	0.50	-	-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)				地震荷重の重要度係数を1.25で設計。		4.0	0.80	-	-	
2 免震・制震・制振性能						3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数						3.4	0.30	-	-	
1 躯体材料の耐用年数						3.0	0.20	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔						3.0	0.20	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔						3.0	0.10	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔						3.0	0.10	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔				期待耐用年数の大きい材質を選定。		5.0	0.20	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔						3.0	0.20	-	-	
2.4 信頼性						4.0	0.20	-	-	
1 空調・換気設備				災害時の一時避難に対応可能な空調・換気設備を整備。		5.0	0.20	-	-	
2 給排水・衛生設備				災害時の一時避難に対応可能な給排水・衛生設備を整備。		5.0	0.20	-	-	
3 電気設備						3.0	0.20	-	-	
4 機械・配管支持方法						3.0	0.20	-	-	
5 通信・情報設備				災害時の一時避難に対応可能な通信・情報設備を整備。		4.0	0.20	-	-	

<b>3 対応性・更新性</b>			3.5	0.30	-	-	3.5
3.1 空間のゆとり		壁長さ比率<0.1	5.0	0.30	-	-	
1 階高のゆとり			-	-	-	-	
2 空間の形状・自由さ			5.0	1.00	-	-	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.30	-	-	
3.3 設備の更新性			2.8	0.40	-	-	
1 空調配管の更新性			2.0	0.20	-	-	
2 給排水管の更新性			3.0	0.20	-	-	
3 電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-		
4 通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-		
5 設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-		
6 バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-		
<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>			-	0.30	-	-	3.7
1 生物環境の保全と創出			3.0	0.30	-	-	3.0
2 まちなみ・景観への配慮		周辺の環境や地域性、ランドスケープと調和した外観デザイン。	4.0	0.40	-	-	4.0
3 地域性・アメニティへの配慮			4.0	0.30	-	-	4.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		地域性を踏まえた内部空間をデザイン。	5.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			3.0	0.50	-	-	
<b>LR 建築物の環境負荷低減性</b>			-	-	-	-	3.2
<b>LR1 エネルギー</b>			-	0.40	-	-	3.3
1 建物外皮の熱負荷抑制		[BPI][BPI <sub>m</sub> ]:0.62	5.0	0.20	-	-	5.0
2 自然エネルギー利用		メインエントランス・エントランスロビーにトップライトを設置。	4.0	0.10	-	-	4.0
3 設備システムの高効率化			2.7	0.50	-	-	2.7
4 効率的運用			3.0	0.20	-	-	3.0
集合住宅以外の評価			3.0	1.00	-	-	
4.1 モニタリング			3.0	0.50	-	-	
4.2 運用管理体制			3.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価			-	-	-	-	
4.1 モニタリング			-	-	-	-	
4.2 運用管理体制			-	-	-	-	
<b>LR2 資源・マテリアル</b>			-	0.30	-	-	3.4
1 水資源保護			3.8	0.20	-	-	3.8
1.1 節水		節水型の便器を採用。	4.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.7	0.60	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無		雑用水に雨水利用設備を採用。	4.0	0.70	-	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無			3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.2	0.60	-	-	3.2
2.1 材料使用量の削減			2.0	0.10	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			3.0	0.20	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用			3.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			2.0	0.10	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		解体時に分別が容易な乾式壁を大部分に採用。	5.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.6	0.20	-	-	3.6
3.1 有害物質を含まない材料の使用		接着剤や塗料には、有害物質を含まない材料を採用。	5.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			3.0	0.70	-	-	
1 消火剤			-	-	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)			3.0	0.50	-	-	
3 冷媒			3.0	0.50	-	-	
<b>LR3 敷地外環境</b>			-	0.30	-	-	3.0
1 地球温暖化への配慮		ライフサイクルCO2排出率は89%。	3.4	0.33	-	-	3.4
2 地域環境への配慮			2.6	0.33	-	-	2.6
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			2.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.5	0.25	-	-	
1 雨水排水負荷低減			3.0	0.25	-	-	
2 汚水処理負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
3 交通負荷抑制		駐車台数は600台以上を整備。利便性と安全性を考慮した計画。	5.0	0.25	-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.1	0.33	-	-	3.1
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1 騒音			3.0	0.50	-	-	
2 振動			3.0	0.50	-	-	
3 悪臭			-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.40	-	-	
1 風害の抑制			3.0	0.70	-	-	
2 砂塵の抑制			1.0	-	-	-	
3 日照障害の抑制			3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			3.7	0.20	-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		「光害対策ガイドライン」の項目の一部を満たす。	4.0	0.70	-	-	
2 屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30	-	-	

# CASBEE埼玉県 重点項目シート

■使用評価ソフトバージョン

CASBEE埼玉県2016年版

## 1 建物概要

建物名称	(仮称)埼玉県屋内50m水泳場、川BEE	1.5	BEEランク	★★★★
------	----------------------	-----	--------	------

## 2 重点項目の評価

ライフサイクルCO2の削減のスコア		緑の保全・創出のスコア			
3.4	+	2.6	=	6.0	
重点項目の各スコアの合計点					
がんばろう 6.0未満	良い 6.0以上	非常によい 6.8以上	すばらしい 8.0以上		

## 3 重点項目についての環境配慮概要

(1) ライフサイクルCO2の削減		スコア平均	3.4
<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>			
LR3 敷地外環境対策	1. 地球温暖化への配慮	スコア	3.4
・太陽光発電及び屋上緑化の導入で、ライフサイクルCO2の削減に取り組んでいる。			
(2) 緑の保全・創出		スコア平均	2.6
<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>			
Q3 室外環境(敷地内)	1. 生物環境の保全と創出	スコア	3.0
Q3 室外環境(敷地内)	3. 2 敷地内温熱環境の向上	スコア	3.0
LR3 敷地外環境	2. 2 温熱環境悪化の改善	スコア	2.0
・西側道路に面して樹木を配置し、施設前景になる位置にシンボルツリーを配することで、緑に囲まれた施設としている。			
・利用者が出入り可能な屋上には、屋上緑化を施し、心地の良い屋上空間を創出している。			
・建物の敷地や機能に応じた適切な緑化計画を行っている。			

: 入力欄